

今回、受け手として仲間に加わっていただきたいのはこんな人

- ① 20歳以上65歳以下で、電子メールの送受信が可能な方
- ② 月に1~2回、水曜ボランティア可能な方
(シフト制/活動時間=午後3時45分~午後9時30分の間で3時間を目安)
- ③ お互いに学び合う姿勢を持ち続けられる方
- ④ チャイルドラインの理念に同意し、子どもとの4つの約束を守れる方
- ⑤ 原則として「受け手になるまでのプロセス」に全参加いただける方
- ⑥ 無償で受け手活動に参加することに同意いただける方(交通費等の実費含む)
- ⑦ 受け手認定後、1~2か月に一度行われる継続研修(土曜午後)に参加いただける方
- ⑧ 初回のオリエンテーションに参加し、講座受講料10,000円(25歳までの学生=半額、正会員=7000円)の支払いに同意いただける方
- ⑨ チャイルドラインこおりやまの正会員(初年度無料、2年目から3000円)にご入会いただける方

*上記の項目すべてをクリアすることに困難がある方はご相談ください。

FAX送信表

受講を希望の方、受け手以外のボランティアに興味がある方は、以下の表にご記入の上FAXまたは郵送にてお申し込みください。

お申し込み締め切り

4月13日(水)

送付先

FAX:0248-68-2162

● あてはまるものにチェックを入れてください。

- チャイルドラインこおりやま 受け手ボランティア養成講座に申し込む
- 受け手以外のチャイルドラインのボランティア活動に興味がある
- 各講座の聴講のみ希望する

聴講のみ参加の方は希望の講座に○をおつけください。						
① 4月16日(土)	② 4月30日(土)	③ 5月14日(土)	④ 5月28日(土)	⑤ 6月11日(土)	⑥ 6月25日(土)	⑦ 7月9日(土)

お名前	() 歳	電話番号
住所	(〒)	
メールアドレス		
その他ご質問等あればご記入ください		

*個人情報の取扱いについて…当団体では、お申込頂いた際の個人情報を適切に管理し、第三者に対しての提供、開示等は一切いたしません。



チャイルドラインこおりやま 第6期 受け手養成講座

「チャイルドライン」は、18歳までの子どもがかける専用電話です。

チャイルドラインでは、
①ヒミツはまもるよ ②名まえは言わなくてもいい
③どんなことでも、いっしょに考える ④切りたいときには、切っていい
という4つのことを子ども達に約束し、日々、電話で心の声を聴いています。

基礎編
初回

平成28年 4月16日(土) 13時15分~16時30分
(途中休憩あり)

多くの人が追いまわられるように生きる忙しい現代、子どもたちを取り巻く環境は年々悪化しています。いじめ、対人関係をはじめ、不登校、ひきこもり、虐待、性の悩み…子どもの声に耳を傾け、子ども自身が解決の糸口を見つけていくために、気持ちに寄り添いながら電話を通して子どもの声を聴く「受け手ボランティア」の存在は大切です。子どもの思いを受け止め、共に考える。子どもの自尊感情を高めるための「心の居場所づくり」にあなただも参加してみませんか。

この春、第6期受け手養成講座を開催します。「受け手ボランティア」を目指す方、子ども理解を深めて子育てや仕事に生かしたいと考える方、子どもの環境を考えたいという方を歓迎します。いっしょに学びましょう。多くの方のご応募を心よりお待ちしております。

■会場 東邦銀行郡山中町店 2F会議室 (福島県郡山市中町2-10)

無料駐車場に限りがございます。お車でお越しの際、満車の場合には、有料駐車場ご利用願います。できれば、公共の交通機関をご利用ください。

■定員 各回45名

※お申込みがない場合、立ち見もしくは入場をお断りすることがございます。

■聴講料

各講演500円

プログラム

13時15分~14時15分 ● 講演1

チャイルドラインとは?

おお おか けい こ
大岡 桂子
[チャイルドラインこおりやま 理事長]



14時25分~15時55分 ● 講演2

『震災5年目福島の子どもたち』

なるい かなえ
講師 成井 香苗さん [カウンセラー、臨床心理士]

16時05分~16時25分 ● オリエンテーション [チャイルドライン運営者]

●当日は申込受付・聴講料受付を実施します。

■主催 チャイルドラインこおりやま

■後援 福島県、郡山市、福島県教育委員会、郡山市教育委員会
(申請中を含む)

お問い合わせ



チャイルドラインこおりやま

〒963-8835 福島県郡山市小原田2-19-19 FNIC-202

TEL:024-942-4036 FAX:0248-68-2162

URL:http://cl-koriyama.org E-mail:info@cl-koriyama.org

「子どもの成長を応援したい」という
あなたのお越しをお待ちしています!

第6期 受け手養成講座 スケジュール表

会場／東邦銀行郡山中町店2F会議室

ごあいさつ

代表 大岡桂子

人との出会いは世界を広げます。困難にぶつかり悩む子ども達は、誰かに話をする事で乗り越える力がある自分に気づくことができます。電話の向こうの子どもの声が明るくなると、受け手のおとな子どもから新しい力をもたらしていると感じます。子ども達の声を大切に受け止めて社会に発信することが私たちの活動です。仲間になっていただける方をお待ちしています。

第1回～第7回 養成講座【基礎編】／座学

	時間	テーマ	講師	聴講料
① 4月16日(土) 一般公開	13:15-14:15	チャイルドラインとは	大岡桂子 チャイルドラインこおりや理事長	500円
	14:25-15:55	震災5年目福島の子どもたち	成井香苗 カウンセラー・臨床心理士	500円
	16:05-16:25	オリエンテーション (講座の流れ、修了と認定、受講料について)	チャイルドラインこおりや運営者	--
② 4月30日(土) 一般公開	13:15-15:15	子どもの自己肯定感を 育むために大切なこと	大宮勇雄 福島大学人間発達 文化類学教授<幼児教育>	500円
③ 5月14日(土) 一般公開	13:15-15:15	子どもの権利条約と子ども観	青木悦 「朝日ウイークリー」「婦人民主新聞」 元記者・教育ジャーナリスト	500円
④ 5月28日(土) 一般公開	13:15-15:15	不登校・ひきこもりの状況の 子どもと向き合う	内田良子 心理カウンセラー・子ども相談室 「モモの部屋」主宰・元NHKラジオ 「子どもと教育電話相談」アドバイザー	500円
⑤ 6月11日(土) 一般公開	13:15-15:15	思春期の性～性のこと話せますか	村瀬幸浩 元一橋大学講師・日本思春期学会名誉会員	500円
⑥ 6月25日(土) 一般公開	13:15-15:15	学校・家庭・地域 ～子どもの心の扉をひらくために	鈴木庸裕 福島大学大学院人間発達文化 研究科教授<学校福祉臨床領域>	500円
⑦ 7月9日(土) 一般公開	13:15-15:15	子どもの貧困の現状 ～子ども食堂の活動から	江川和哉 寺子屋方丈舎 理事長	500円

第8回～ 養成講座【実践編】／ワークショップ

	時間	テーマ	講師	聴講料
⑧ 7月23日(土) 非公開	13:15-15:15	傾聴の基本(ロールプレイ)	坪井永光(チャイルドラインこおりや理事)	--
⑨ 8月6日(土) 非公開	13:15-16:25	チャイルドライン的傾聴 (ロールプレイ)	坪井永光(チャイルドラインこおりや理事)	--

終了時間は16:30(第1回、第9回)もしくは15:30(第2回～第8回)を予定しています。

福島市でも受講生を募集します(5月21日開講)。詳細はお問い合わせください。
チャイルドラインふくしま TEL.024-563-4191

受け手になるまでのプロセス

- ① 第6期受け手養成講座(基礎編／実践編)修了
- ② 課題文提出
- ③ インターン参加

*上記の項目すべてをクリアすることに困難がある方はご相談ください。

【受け手の声】

受け手としてボランティアして下さる方の声です。現場や日常生活で感じていることを寄せて頂きました。



●日常生活で

不機嫌そうにしている子がいて、気になったので、声をかけました。「最近、どう?」。私は心に余裕を持ち受け入れるつもりで……。尖っていたのが少し笑顔。最後まで丁寧に聞く姿勢を大切にしているからこそ、心に寄り添えたな〜と感じる瞬間でした。チャイルドラインで学べたことに感謝です。(50代女性)

●チャイルドラインの現場にて

現代のストレス社会で、子どもも悩み、傷ついています。誰にも言えない事を初めは憂鬱な声で電話をかけてきてくれた子が、電話を切る頃には明るい声で切ってくれるのは嬉しいですね。(40代女性)



●チャイルドラインの現場にて

電話を取る前、「子どもたちの声をしっかり聴こう」と自分に言い聞かせます。「毎日かけるんです。話をしても秘密を守ってくれるから、まじめに聴いてくれるから…」と信頼し、電話をかけてくれる子どもたちの期待にこたえられるように。そんな子どもたちの存在を受け止められるよう願います。(50代女性)

●職場で

対人支援の仕事をしています。チャイルドラインで学び、電話を通じて子どもたちと向き合う機会を頂いたおかげで、実際の仕事で生かせるようになりました。これまでよりも深く、丁寧に人と向き合うことができている。感謝です。(40代男性)

●チャイルドラインの現場にて

電話をかけてきて、たとえその子が電話口で発したのが沈黙だったとしても、自分ごとに真剣に向き合うきっかけをつくっていると思います。チャイルドラインという存在があることがどれほど大事か感じています。(20代女性)

【子どもからの感想】

公表する旨を明記して募集し、携帯サイトホームページに寄せられた子どもの声から抜粋しています。文章は原文のママです。



●今回はじめて電話したけど、自分のペースに合わせて話を聞いてくれました。自分の気持ちの整理が付きなくて悩んで、自分の弱みを、知らない人だからこそ話しやすかったのかもかもしれません。悩んで悩んで苦しむよりも、ずっと気持ちが晴れたし、たくさん泣きました。どんな事も聞いてくれました。こういう居場所があることを感謝したいです。(15歳 女)

●自分のペースに合わせて、ずっと話を聞いてくれたので、話しやすかったし気持ちが楽になりました。今迄一緒に泣いてくれたりしてくれた人がいなかったから、一緒に泣いてくれたり、悩んでくれたりした時は電話して良かった。やっと、私の気持ちを分かってくれる人が居た。って思えました。ありがとうございました。(年齢性別不明)

●一緒に真剣に悩みを聞いてくれてすごく力になった。途中で感情的になって泣いちゃっても、「ゆっくりでいいよ」って言ってきて、嬉しかった。何度でも、どんな悩みでも聞いてくれるから安心できる。名前を聞かれないところもとってもいい。(13歳 女)

●電話は緊張しましたが、聞いてもらってすっきりしました。否定されずに、共感してもらえたりして嬉しかったです。頑張りたいと思います。ありがとうございました。(14歳 女)



子どもの声を聴くために…<アクティブリスニング>

今、子どもは何を伝えようとしているのか。どこが主訴なのか。どこに寄り添えばいいのか。受け手は自分の聴き方を研修で高めながら、子どもの声に耳を傾けます。子どものエンパワーメントを引き出しながら受け手も「積極的な傾聴」の力を身につけます。子どもとの出会いは受け手であるあなたの人生も豊かにしてくれることでしょう。(アクティブリスニング)